

日鐵従業員組合

石油労働西戸崎支部

福岡監九州柳松屋社

セメント労働門司支部

7、祝 辭

○ 筑豊民衆青年同盟

水谷 哲 男

本大旨の實効が組合所有の會館で明催出来ることは最も欣
ひとする所である。それは組合精神の堅實を益はすと共に
諸君の實力を資本家に對して發揮することから出来るのであ
る將來益々奮闘せられよ。

○ 福岡監直方山並川

元 坂 順 次

私か舊地へ来て半ヶ年此の間最も痛感した事は九州と關西
方面との労働者の生活状態に大いなる差のある事である、
筑豊方面の労働者の生活は極度に逼迫してゐる、其の半面
に對しては灰坑は非常なる利潤を獲つてゐる、筑豊に於ける

級山労働者は五割と稱せらるる先づ昔等は自己陣營の強化
加入を圖り生活極端縮減維持の爲絶對的闘争を開始し労働
者の手に依る社會を築かねば駄目である。

○ 全筑豊西縣聯合會

野 澤 四 郎

社會の動きは労働者層氏の趨勢に依て決する筑豊灰田の暴
力凶の危険に曝されるから其の迫害に抗して日石組合旗を
守つて勇取に闘つて来た諸君に痛聲の敬意を表すると共に
一九三六年の非常時に對して逼迫せる生活極端縮減の爲團結
の力を以て闘へ。

○ 福岡監九州聯合會

久 保 時 造

組合運動の困難なるは圖する途もないか更に灰坑の組織は
競争中の競争である。筑豊灰田の暴力行為は未だ止まず、
灰坑労働者で白眼を振ふ者さへある、かかる苦難苦闘を經